

◎基本情報

事務事業名	ボートレース事業経営基盤強化推進事業			担当部署	企業局 ボートレース企画課 ボートレース事業課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	なし		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業 期間	開始	平成	26 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと					
(小項目)		行財政運営					
施策	5	効率的・効果的な行財政運営の推進					
基本事業	2	財政の健全化			終期	未定	

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ボートレース鳴門						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	景気低迷やレジャーの多様化など厳しい経営状況に置かれているボートレース鳴門を、将来に渡って持続可能で健全な経営が可能な企業として生まれ変わらせるために、アクションプランを策定し、計画の着実な実行に取り組む。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	新スタンドをリニューアルオープンし、本場レースを再開するとともに、本市で初めてとなるSGオーシャンカップ競走を開催し、収益の確保に努める。 また、プレイパークの設計・工事を行うとともに、地域開放型施設の周知や積極的な活用及び利用促進を図り、ボートファンだけでなく多くの方にお越しいただける施設運営を行う。 さらに、ダンボールボートレースイベントの復活やボートレース場が観光客や家族で来場でき、楽しめるレジャースポットになるようなイベントを開催し、イメージアップを図る。 新アクションプラン(仮称)の策定を行い、より健全な事業運営を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		新スタンドリニューアルオープン		100				%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	・新スタンドリニューアルプレオープン、グランドオープンセレモニー ・SGオーシャンカップ開催、各種イベントの実施 ・プレイパークの一部設計完了及び一部着工 ・地域開放型施設の活用及び利用促進 ・ダンボールボートレース、クリスマスマーケット、ウォータースクリーンイリュージョンの実施 ・新アクションプラン(案)の作成					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	新スタンドリニューアルオープン		100	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	307,284	307,284
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	307,284	307,284
		決算額	0	0	0	0	289,578	289,578
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費
		6.0	0.0		42,798		332,376	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：ボートレース事業経営基盤強化推進事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	2,134,149	289,578	2,004,668	未定	未定
	うち一般財源	2,134,149	289,578	2,004,668		
	人件費	41,154	42,798	42,798		
	総事業費	2,175,303	332,376	2,047,466		

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		リニューアルオープン、GI周年記念競走、SGオーシャンカップ、ダンボールボートレースと大きな事業が連続したが、厳しいスケジュールの中、全ての事業を完遂できた。
	効率性	A:効率的だった		有効性の所見のとおり、効率的に事務を進められた。人員について、これ以上削減は不可能である。
②成果に対する評価	指標名	新スタンドリニューアルオープン		有効性の所見のとおり、効率的に事務を進められており、事業は計画通り進捗した。
	目標	100	%	
	実績	100	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		リニューアルオープン、SGオーシャンカップなど計画通り遂行でき、売上、ファンサービス等についても好調である。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今年度はSGグランドチャンピオン決定戦競走の開催が決まっており、この開催に向けて効率的に準備を進めていく。また、本場レース開催時の入場者数は減少傾向にあるため、新たなファンを獲得する施策を展開する必要がある。外向発売所を含め、全体のバランスを見ながら施設の特性、役割を活かして経営していく必要がある。業界全体の傾向として今後も舟券売上は減少していくと予想されるため、大幅な売上向上は望みにくい。施設改善により施設に係るランニングコストはこれまでより抑えられるが、多額の設備投資費用を回収しなくてはならず、その他の運営経費をできるだけ抑えられるよう効率的に運営していく。平成30年度から下半期90日間のモーニングレース開催が決まっており、それに向けた準備を進めるとともに、上半期についても多様な発売形態を検討し、売上向上を図る。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	平成29年6月にSGグランドチャンピオン決定戦競走を開催する。 平成30年度のモーニングレース開催に向けた準備を進める。 新アクションプランに基づき、より健全な事業運営に取り組む。			
	H30年度	下半期にモーニングレースを開催する。 新アクションプランに基づき、より健全な事業運営に取り組む。			